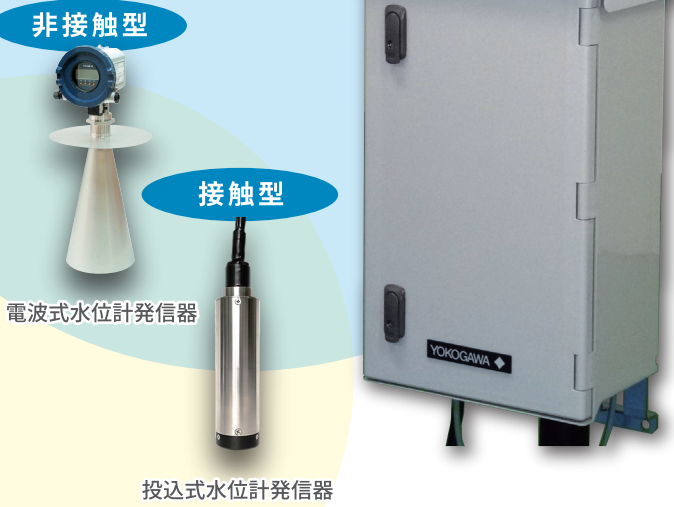


危機管理型水位計

- 頻発・激甚化する水害対策のために水位計の設置が急務
- 国土交通省「危機管理型水位計の観測基準・仕様」準拠、寒冷地仕様対応



河川観測用水位計のトップメーカーとして長年の経験と実績のある当社が、河川観測技術を活かした「危機管理型水位計」をご提案

製品名	危機管理型水位計		
会社名	横河電子機器株式会社		
水位の計測方式	接触型	：	水圧検出方式
	非接触型	：	電波検出方式
制御方式	自律型		

横河電子機器株式会社
Yokogawa Denshikiki Co., Ltd.

＜接触型＞ 投込式水位計発信器	
検出方式	半導体センサによる水圧検出方式
測定範囲	0 ～ 10 m、0 ～ 20 m
精度	測定範囲の上限値の ±0.1% ※空気圧試験 23℃において
最大許容入力	4 MPa(水深 400 m 相当の圧力)
隔測距離	最大 100 m
耐雷	電源とボディ間 10 kV
構造	JIS C 0920 70 m 水中形
動作温度	-10 ～ 60℃
使用環境 *1	-30 ～ 60℃
材質	ボディ ； SUS316L ダイヤフラム ； ハステロイ C-276
外形寸法	約 φ60×200(H)mm(ケーブルを除く)
質量	約 2.2 kg(ケーブルを除く)

＜非接触型＞ 電波式水位計発信器	
検出方式	電波検出方式
最大測定距離	10 m
精度	±10 mm(自由空間、周囲温度 25℃、金属平板を反射体とした場合)
中心周波数	5.8 GHz
出力電力	35 μV / m 以下 at 3 m 自由空間用微弱電波機器 (電波法の届出不要)
不感帯距離	0.5 m(不感帯距離は、計測基準面からの距離になります)
構造	IP65
動作温度	-20 ～ 70℃
使用環境 *1	-30 ～ 70℃
材質	ケース ； アルミダイキャスト アンテナ ； SUS316L、PTFE
外形寸法	約 φ265×584(H)mm(ケーブルを除く)
質量	約 4.2 kg(ケーブルを除く)

送信ボックス	
適合発信器	接触型 投込式水位計発信器 非接触型 電波式水位計発信器
入力数	1 点
測定周期	監視モード(平常時)：10 分 観測モード(洪水時)：2 分 / 5 分 / 10 分
水位処理	移動平均(1 秒ごと、20 秒間の測定値から最大最小 2 データずつを除いた平均値)、ゼロ点補正、大気圧補正※、重力加速度補正※、密度補正※ ※投込式水位計のみ
送信データ	識別番号、監視・観測時刻、水位、電源監視データ、機器状態監視データ
送信周期	監視モード(平常時)：1 日 1 回死活監視用にデータ送信を実行 観測モード(洪水時)：測定周期と同じ周期で送信
通信	LTE Cat.1
時刻補正	定期的に NITZ または NTP サーバーと同期
バッテリー	12 V DC 12 Ah
太陽電池	最大出力電力 12 W
バックアップ期間	監視モードで 9 日間無日照の後、観測モードで 150 回(測定周期 2 分で 5 時間)の観測が可能
構造	IP65
動作温度・湿度	-10 ～ 50℃、90%r.h. 以下 (ただし、内部が結露なきこと)
使用環境 *1	-30 ～ 50℃
外形寸法	ボックス ； 約 300(W)×500(H)×165(D)mm 太陽電池；約 350(W)×292(H)×293(D)mm
質量	ボックス ； 約 10.6 kg 太陽電池；約 3.6 kg

*1：動作温度範囲外での動作を保証するものではありません。

価格

- 接触型 ￥800,000- (税抜)
- 非接触型 ￥900,000- (税抜)

発注ロット数に応じた価格については、当社営業員にご相談ください。

横河電子機器株式会社

URL <http://www.yokogawa.com/jp-ydk/>



お問い合わせは(代理店)

■ 本社
第2営業本部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-13 南新宿星野ビル2F
TEL：03-3225-5364 FAX：03-3225-5314

■ 関西支店
〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町 2-1-1 三井住友銀行高麗橋ビル 7F
TEL：06-4706-8026 FAX：06-4706-8028

河川での実績

使用する水位計は河川での稼働実績があり、**Made in Japan**の信頼性の高い製品です。また、当社は河川への水位計設置に関しても多くの経験と実績があります。

優れた保守性

- 水位や機器状態の表示が可能で、現地での設定変更やメンテナンスに有効です。
- 避雷素子を内蔵し、優れた耐雷性能を有します。
- ランニングコスト低減のために現地部品交換が可能です。
 - 内蔵避雷素子の現地交換が可能
 - 投込式水位計は専用メンテナンスキット(別売)で現地交換可能
- 小型バッテリーを採用し、現地での交換が容易です。

河川の状況に合わせ自動でモード切替え

監視モードと**観測モード**を切り替えることで、電力消費を抑えます。

簡単設置！初期費用を抑えます

電源ケーブル、通信ケーブルの敷設不要

- 無電源システムにより、商用電源の配線が不要
- 無線通信(LTE Cat.1)の利用により、通信回線の敷設工事不要

機器を小型化

設置場所の制限が少なく設置が容易です。

高い精度と信頼性

データの信頼性

サンプリング間隔 1秒で 20秒間の平均観測水位により決定。
さらに、最大最小の 2データずつを除去し、データの平均化を行うことで異常値を除去します。

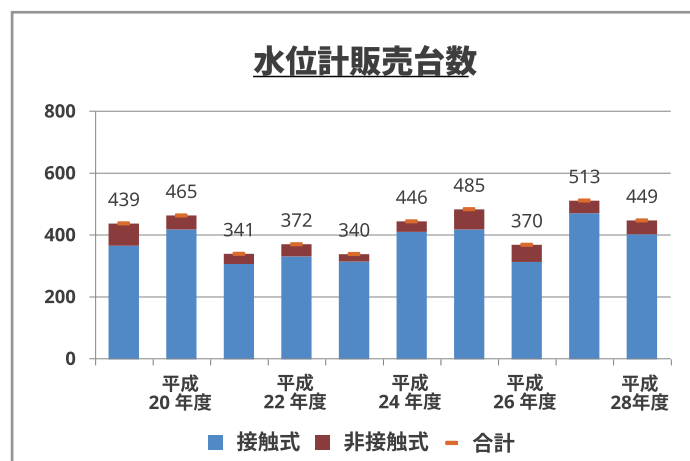
水位補正機能

長年の水位観測の実績から得られた補正機能(大気圧補正、重力加速度補正、密度補正)を標準装備しており、より高精度な測定が可能です。

水位観測の実績

当社は、水防法で定められた「洪水予報河川」および「水位周知河川」に多くの水位計を納入しています。

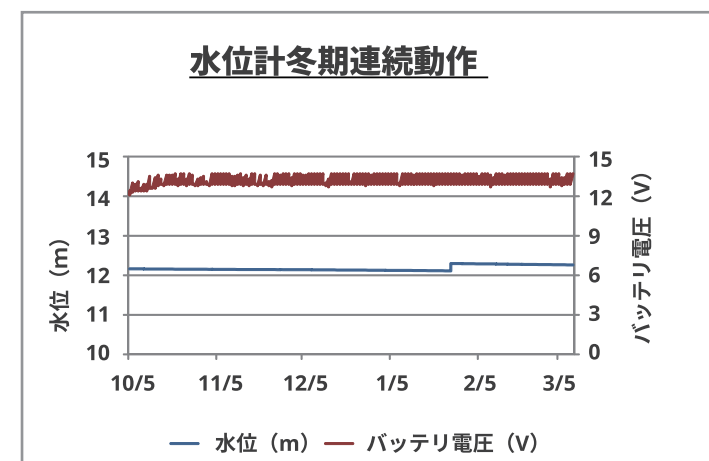
また水位計全体としては、下図に示す「水位計販売台数」の通り、豊富な納入実績で経験と信頼を積み重ねています。



連続観測の実績

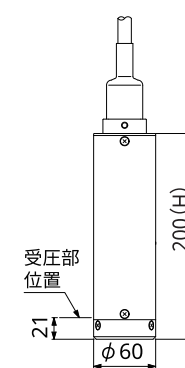
太陽電池およびバッテリーの電源システムでは、日照時間の短い冬期が厳しい条件となります。

当社水位計システムは、下図に示す「水位計冬期連続動作」の通り、10月から3月の冬期間においても良好に稼働しています。

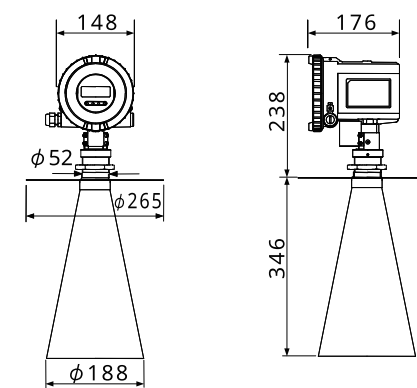


外形図(単位:mm)

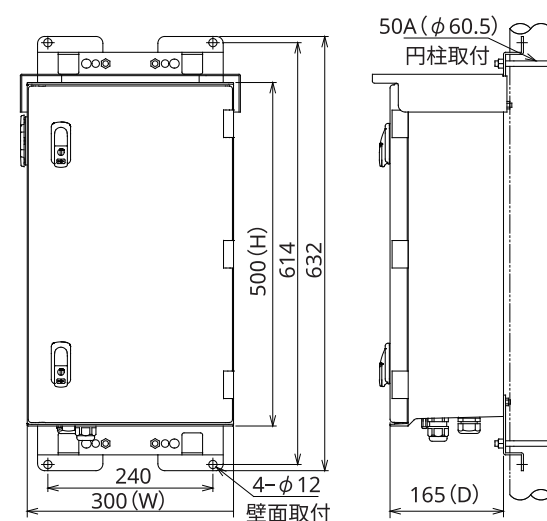
<接触型> 投込式水位計発信器



<非接触型> 電波式水位計発信器



送信ボックス



太陽電池部

